

平成 28 年度 第 7 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 28 年 10 月 24 日 午後 4 時から

場所 宍粟市役所 401 会議室

第7回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成28年10月24日（月） 午後4時00分 ～ 午後5時18分
宍粟市役所 401会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

教育委員	西岡章寿	教育長	杉本健三	委員
	弓削ルリコ	委員	前田純恵	委員
	金本一二	委員		

事務局

藤原卓郎	教育部長	前田正人	教育部次長
橋本 徹	教育総務課長	山本哲史	学校教育課長
中尾善弘	こども未来課長	田路正幸	社会教育文化財課長
大前和浩	学校給食センター所長	中尾美恵子	教育総務課副課長

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

杉本委員

6 前回会議録の承認

平成28年度第6回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、橋本教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の4点について西岡教育長が報告した。

(1) 全国学力・学習状況調査結果について

9月29日に文部科学省より「全国学力・学習状況調査」の結果が公表された。10月5日に「しそう学力向上検討委員会」を開催し、今後、成果と課題を検証し、学力向上に取り組んでいく。

(2) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

一宮南中学校区の学校規模適正化については、9月21日、10月5日に第3回及び第4回総務部会を

開催し、遠距離通学についての協議を行っていただいた。引き続き、現地踏査等も実施しながら、協議していただく。また、11月4日には、第7回正副会長会を開催し、最終の校章デザイン選考、校歌の制作時期等について協議し、次回の協議会開催を調整いただく予定である。

幼保一元化については、波賀中学校区において9月29日に第12回地域の委員会を開催し、幼保一元化は推進すべきであるとの共通理解を全会一致で確認していただいた。11月24日に第13回地域の委員会を開催いただく予定である。一宮北中学校区については、10月26日に第2回協議会を開催し、協議していただく予定である。

(3) 工事の進捗状況について

7月4日から施工していた都多小学校校舎の耐震補強工事については、9月20日に完成した。

神戸小学校のエレベーター設置工事については、入札が行われ、業者が決定し、10月6日から2月28日の工期で施工する予定である。

(4) その他

スクイム市からの訪日団が10月15日から19日までの5日間、来市され、ホームステイや学校訪問、英語スピーチコンテストへの参加などにより交流された。

8 協議報告事項

(1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

資料 1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、学校規模適正化について橋本教育総務課長が、幼保一元化について中尾こども未来課長が報告した。

(2) 通学路交通安全対策の状況について

資料 2「通学路合同点検に基づく危険箇所対策状況について」により、橋本教育総務課長が報告した。

(3) 幼稚園園児募集、三方幼稚園3歳児園児募集について

資料 3「市内幼稚園園児募集」により橋本教育総務課長が報告した。

(4) あずかり保育・学童保育児童等募集について

資料 3「あずかり保育・学童保育児童募集」、資料4「保育所・認定こども園児童募集」により、中尾こども未来課長が報告した。

(5) 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果公表について

資料 5「平成28年度全国学力・学習状況調査結果の公表スケジュール」、「全国学力・学習状況調査の結果について」により、山本学校教育課長が報告した。

(6) 西播磨地区人権教育実践発表会（学校教育の部）について

資料 6「人権教育実践発表会(学校教育の部・本発表)のご案内」により、田路社会教育文化財課長が報告した。

(7) 宍粟市美術展審査結果について

資料 7 「第 12 回宍粟市美術展入賞者」により、田路社会教育文化財課長が報告した。

(8) 学校給食における異物混入対応について

資料 8 「平成 28 年度学校給食センター異物混入状況及び対策」により、大前学校給食センター所長が報告した。

(9) 宍粟市ロードレース大会参加者募集について

資料 9 「第 12 回宍粟市ロードレース大会開催要項」により、橋本教育総務課長が報告した。

(10) 平成 28 年度ミニ企画展「山崎本多家と本多忠勝」について

資料 10 「山崎本多家と本多忠勝」により、田路社会教育文化財課長が報告した。

(11) 「社会教育振興計画」総合点検・評価の進捗状況について

「社会教育振興計画」の総合点検・評価の進捗状況について、田路社会教育文化財課長が報告した。

(12) 一宮北中学校冬季寄宿舍について

一宮北中学校冬季寄宿舍の閉寮協議について、橋本学校教育課長が報告した。

委員の主な意見及び事務局等の説明

(金本委員)

通学路の交通安全対策について説明を受けたが、市内で熊に襲われた住民があったと聞いた。クマ出没に対する対応はどうされているのか。

(弓削委員)

万が一、熊と遭遇した場合にどう対処したらよいかなどの情報も地域や学校へ発信してもらいたい。

(教育総務課長)

該当の校区では、警察や保護者による通学児童の付き添いなどの対策をとっていただいている。有害鳥獣担当の農業振興課より市内の熊出没の情報提供が教育委員会事務局にあり、それを市内の全学校園所へも知らせ、安全対策を取るよう注意喚起している。

(学校教育課長)

今回の該当校には、保護者や地域との連携により対策を取っていただくよう依頼するとともに、学校から保護者への緊急メールシステムでの情報発信などを行っている。

(教育部長)

農業振興課が兵庫県森林動物研究センターの熊と遭遇した際の対処方法などが書かれたパンフレットを自治会等へ配布していると聞いており、今後、農業振興課、学校とも検討していきたいと考える。

(教育長)

熊は音に敏感ということで、小学校では、児童に鈴を持たせるなどの対策を取っていると聞いている。

(杉本委員)

全国学力・学習状況調査の結果について、宍粟市の児童生徒の結果が低く、驚いた。平均点だけをみての状況は、去年と比べるとどうなっているか。

一般的には平均点での判断をしがちであるが、平均点だけでなくその分布状況について教えてほしい。

(学校教育課長)

全国学力・学習状況調査結果は、平均数値で公表されている。知識と技能の習得度をみる A 問題、知識と技能の活用力をみる B 問題がある。小学校の国語、算数のそれぞれの A 問題、B 問題について一昨年からの年毎の平均点での状況をみると、算数で一部、前年度より微増している年があるが、年々下がっている状況である。中学校の国語、数学では、一部、前年度より高くなっている年もあるが、その他は年々下がっている状況である。

分布状況は、全国と比較すると、点数の上位層が劣っているとされ、中位層から下が上回っている状況で、A 問題も B 問題も同じような傾向がある。中学校でも似たような状況である。

(杉本委員)

本市の児童生徒の分布は、上位はやや少なく、下位がやや多い状況とのことだが、去年も一昨年も学力向上検討委員会を開いて、学校へ提言し、対策を講じている中、成績は下向きという状況である。検討委員会後、きちんと対策が講じられているということを確認されているのか。

(学校教育課長)

検討委員会からは、できなかった部門等の指摘だけではなく、学習形態等への提言などもあり、学校現場での定着に時間を要するものもある。課題が顕著な A 問題対策として、28 年 6 月補正予算により学習支援ツールを整備した。これは、インターネット利用により学習プリントが作成できるシステムであり、A 問題対策の一つとして積極的に活用し、チェックしていく。

(杉本委員)

学力が簡単に伸びるものではないことは理解でき、教育委員の学校訪問では、児童の技能等を伸ばす教師の力についてはわからないところもある。研究会などで、研修されていると思うが、子どもに本当の力をつけて社会に送り出すんだと、先生には熱意を持ってもらいたい。また、学力向上には、家庭学習が大事であり、家庭との連携も視野に入れて取り組んでももらいたい。

(学校教育課長)

家庭学習の状況は、全国学習調査の生活習慣調査における児童生徒の回答によると、家庭での学習時間は年々減っているが、一方では、授業は理解できていると答えている。このギャップについて、検討委員会の委員長である大学教授からもそのまま捉えてはいけないというアドバイスをいただいている。学習支援ツールの活用では、プリントを通じた単なる学習だけではなく、その成果も検証していくよう学校へ依頼している。

(教育長)

家庭学習の時間数が減ったりしているようであり、家庭との連携にも取り組んでいく必要がある。

(弓削委員)

家庭学習に関連するが、塾などに行っている児童の状況はどうか。

(学校教育課長)

塾に通っている調査項目はあるが、習い事や学習塾など、どんな塾に通っているかはわからない。

(杉本委員)

就学前の教育が社会人になっても影響として現れることがあると言われ、もっと親が子どもに目を向けることが大事だと特に最近言われている。幼稚園や保育所からも親との関わりが大事であることを伝えて

もらいたい。

(前田委員)

授業に集中できない、人の話がなかなか聞けない子どもが増えていると感じている。小さい頃からの取り組みが大事と思う。

(金本委員)

早寝・早起き・朝ごはんが一番であるという講演や、新聞でも読んだことがあり、基本的な生活習慣として、どのくらいできているか検証してもよいと思う。また、先日読んだ本は、人工知能により機械を通じた教育はできても、やる気を起こさせることは教師の役割であるというような対談内容のものであった。

(教育長)

早寝・早起き・朝ごはんについては、各校でアンケート調査をしているので、後日状況をお知らせしたい。

(杉本委員)

教師としてできることは子どもにやる気を起こさせること、例えば、誉めるということもあるが、なかなか難しいこともある。先生は、プロ意識をもって取り組んでももらいたい。

(弓削委員)

毎朝かけっこや月一回登山を行うような教育方針が人気の幼稚園があると聞いた。市内の運動会での幼稚園児の様子を見ていると、どこか守られているというような感じを受けた。

(教育長)

いただいた意見を今後活かしていきたい。

9 次回会議の招集について

平成28年11月16日（水）午後3時30分から開催すると決定した。

10 閉会

杉本委員が閉会した。

以上 午後5時18分終了